川口市立グリーンセンター

植物スタンプラリー

答え

Q.1 ① ほうき

ケヤキ



神社や公園、道路など、様々な場所で見られる木で、埼玉県内には日本一長いケヤキ並木があります。木材としても強くて丈夫で、あの有名な清水寺の舞台の柱にも使用されています。

Q.2 ② 幹

サルスベリ



木登りが得意なサルでもすべって登れないほどスベスベの幹をしていることが名前の由来です。開花期間が長いため、「百日紅（ひゃくじつこう）」とも呼ばれています。

Q.3 ① ムクロジ

ムクロジ



実の皮を水に入れてかきまぜるとよく泡立つので、昔は石けんの代わりに使われていました。また、実の中にある黒い種はとてもかたく、羽根つきの羽根に付いている黒い玉として使われています。

Q.4 ③ 葉と花と実

オウゴンカシワ



ナラガシワの園芸品種で、新芽や花、どんぐりなどが黄金色になる不思議な木です。春は黄金色の葉と花が楽しめます。葉は夏にかけて一度緑色になりますが、秋の紅葉で再び黄金色になります。

Q.5 ② 2本

クロマツ



長さ10cmほどの針のような葉が2本で1組になっています。アカマツも2本ですが、ゴヨウマツ（五葉松）は名前のとおり5本で1組です。また、ダイオウショウなどの外国のマツは3本で1組のものが多いです。

Q.6 ① クヌギ

クヌギ



夏になるとカブトムシなどが樹液を吸いに集まる木として有名です。葉は細長く、まわりがトゲトゲしていて、どんぐりは大きくて丸みがあります。このどんぐりのおしりにつまようじを刺してコマにして遊べます。

Q.7 ③ 根

ラクウショウ



なんとこれはラクウショウの根です。ラクウショウは沼や池の近くで生育するため「沼杉」とも呼ばれます。沼や池の近くの土は水分が多く、空気が少ないため、呼吸用の根「気根（きこん）」を周辺の地面から出して空気を取り入れます。

Q.8 ② 葉脈（葉のすじ）が一定方向にあるから

ナギ



葉脈が一方向にあるため葉はちぎれにくく、夫婦円満のお守りにされます。また、風がおさまった状態である“凪（なぎ）”と読みが同じであるため漁師たちのお守りにもされ、神様の宿る木として、神社などでよく見られます。